予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

開会日	令和7年2月21日（金）午後1時55分
閉会日	令和7年2月21日（金）午後2時03分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 議場
出席委員	委員長 山田けんたろう 副委員長 大島令子 委 員 伊藤真規子 岡崎つよし おくだけんじ 川合ともゆき ささせ順子 田崎あきひさ 富田えいじ なかじま和代 にしだ亮太 野村 弘 水野勝康 山田かずひこ わたなべさつ子
欠席委員	な し
欠 員	2 人
会議事件のため出席した者の職氏名	市長 佐藤有美 総務部長 加藤英之 次長 福岡隆也 財政課長 井上隆雄 <div style="text-align: right;">計4人</div>
職務のため出席した者の職氏名	議長 木村さゆり 議会事務局長 横地賢一 議事課長 福岡弘恵 議事係長 村瀬紗綾香
会議録	別紙のとおり

別紙

委員長 開会宣言

議長 あいさつ

市長 あいさつ

委員長 本委員会では、一般会計に係る議案のみ説明を受ける。まず、議案第2号令和7年度長久手市一般会計予算について財政課長より概要説明を求める。

財政課長 令和7年度の一般会計当初予算は262億5,000万円で、当初予算の規模としては過去最高額である。

歳入について、1款市税は、対前年度比で約7億1,800万円の増額となった。令和6年度は、国の施策である個人市民税定額減税による減収が約3億円あったので、実質的には約4億円の増額を見込んだものになる。14款国庫支出金は、高校生世代まで拡大された児童手当に係る負担金や、自治体システムの標準化・共通化に向けた改修等に対する補助金が増額になることから、対前年度比で約14億7,100万円の増額となっている。

市税の状況としては、市民税は約61億2,800万円で、令和6年度当初予算に比べ6億円以上の増額となっている。国の施策である個人市民税定額減税がなくなった影響もあり、特に個人分での増額を見込んでいる。税收全体については総額約128億4,700万円で、令和6年度と比べ7億円以上の増額となる見込みである。

歳出について、3款民生費は約119億円で、対前年度比で約13億5,700万円の増額になる。児童手当の受給範囲拡大のほか、児童発達支援事業や障がい者自立支援事業など多くの事業で給付費が拡大傾向にあり、歳出全体に占める割合も高くなっている。9款教育費も、対前年度比で約4億5,500万円の増額を見込んでおり、文化の家の特天天井等改修工事や、古戦場公園で整備を進めているガイダンス施設の展示制作業務等を実施する臨時的な費用の増額が、その主な要因となっている。

委員長 次に、議案第9号令和6年度長久手市一般会計補正予算（第6号）について財政課長より概要説明を求める。

財政課長 今回の補正額は、歳入・歳出ともに2億8,065万8,000円の増額

である。歳入は市税、市債、国庫支出金等の増額と、繰入金、諸収入、県支出金等の減額である。歳出は教育費、民生費の増額と、土木費、衛生費、総務費等の減額である。

なお、長久手小学校施設大規模改修事業はじめ3事業で6億5,739万1,000円を令和7年度に繰り越して使用する。また、長久手小学校大規模改修事業の地方債を追加し、既定の橋梁長寿命化等修繕事業の地方債を変更し、規定の市が洞保育園施設改修事業の地方債を廃止する。

委員長 次に、議案第27号令和7年度長久手市一般会計補正予算(第1号)について財政課長より概要説明を求める。

財政課長 今回の補正額は、歳入・歳出ともに6,978万7,000円の増額である。歳入は国庫支出金、県支出金、繰入金の増額と、諸収入の減額である。歳出は教育費、民生費、商工費等の増額である。

委員長 本委員会に付託された議案13件は所管の分科会へ送付することとしてよいか。

<異議なし>

委員長 閉会宣言

午後2時03分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

令和7年2月21日

予算決算委員会委員長 山田けんたろう